

II. 人と自然にやさしい環境のまちづくり

1. 自然環境の保全

豊かな自然環境の保全

担当課・・・環境整備課

事業費・・・3,775千円

本市の豊富で良質な地下水を保全するため、県と連携して地下水の採取量の報告書の提出を求めるほか、水質検査を実施し地下水の汚染防止と保全対策を推進します。

菊池川流域同盟の活動においては、河川水質調査、事業所排水調査、廃油石鹼の利用促進、水環境功労者表彰、水援隊研修のほか、「菊池川の日」啓発事業を実施し、環境団体と連携して河川浄化の意識の啓発を行っています。

また、河川等での水質事故(油流出)や各種公害については、関係機関との連携による迅速な処理に努めます。

【主な経費】

環境保全及び公害対策関係費 503 千円

地下水・河川水・土壌調査等 645 千円

菊池川流域同盟負担金 1,120 千円

水援隊報償費 600 千円

菊池川と裏川を美しくする会報償費 50 千円

繁根木川を美しくする会報償費 50 千円

廃油石鹼製作経費 807 千円



菊池川流域同盟の菊池川の日啓発事業

2. 環境保全への意識啓発

エコの環たまな補助金

担当課・・・環境整備課

事業費・・・500千円



エコの環たまなの環境教育指導者派遣事業

市民や団体、企業と連携し、玉名地域における環境問題への意識啓発及び広報活動を行うことで、地域の実情に即した地球温暖化対策の推進を図ることを目的としています。今年で玉名地球温暖化対策地域協議会「エコの環たまな」が設立されて4年目を迎えます。

学校等への環境教育指導者の派遣、緑のカーテン事業、生ごみの堆肥化の推進、菜の花・ひまわりの推進など各種温暖化対策事業を展開していきます。

【主な経費】

エコの環たまな補助金 500 千円

II. 人と自然にやさしい環境のまちづくり

3. 新エネルギーの導入

太陽光発電設置補助事業

事業費・・・30,000千円

担当課・・・環境整備課



市内における太陽光発電システムの設置例

新エネルギーの利用を促進し、地球規模の環境問題である地球温暖化対策に貢献するとともに持続可能な都市づくりを推進するために自ら居住する住宅に太陽光発電システムを導入する市民の皆様に対し、設置費用の一部として1kW当たり3万円(5キロワット上限)を助成します。

【主な経費】

住宅用太陽光発電システム設置費補助金
30,000千円

4. 上水道・下水道の整備促進

水道事業

事業費・・・1,247,083千円

担当課・・・水道課

水道事業・簡易水道事業は、市民の皆さんに清潔で安全な水を供給するため、水道料金を主な財源として、既存の水道施設の維持管理を行い、また水道未普及地域への水道施設の新設や老朽化した水道施設の更新などを行います。

上水道事業会計(玉名・岱明地区 事業費:1,166,732千円)

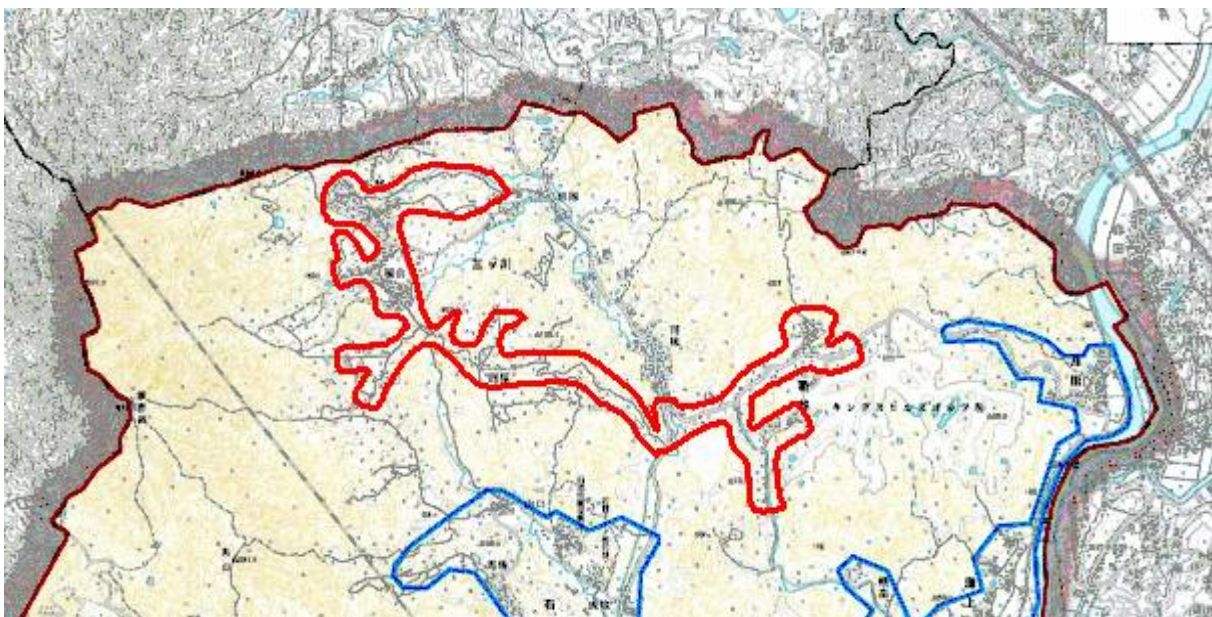
【主な事業】

- ・三ッ川地区簡易水道施設整備事業他 <<240,034千円>>
- ・雲雀丘地区配水管布設替工事他 <<47,000千円>>

簡易水道事業会計(天水地区 事業費:80,351千円)

【主な事業】

- ・天水町東地区配水管布設替工事 <<40,530千円>>



箱谷・三ッ川地区簡易水道施設整備事業区域図

II. 人と自然にやさしい環境のまちづくり

下水道事業会計

事業費・・・2,401,770千円

担当課・・・下水道課

合併による区域の変更に伴う計画の見直しを行うことで効率的な下水道整備促進を図ります。

【主な事業】

- ・下水道整備促進事業(事業費 210,000 千円)・・・事業認可を受けた区域内で未整備地区に下水道管を設置する工事を行います。平成 23 年度は、旧玉名市の玉名地区や旧岱明町の西照寺・高道地区などの整備を計画しており、生活環境の改善を図っていきます。(H23 整備予定面積:10.56ha、管渠延長:2,369.8m)
- ・玉名市浄化センター改築更新事業(事業費 454,700 千円)・・・老朽化して稼働効率が悪くなった機械・電気設備等を新しいものに入れ替え、汚水処理がスムーズに行えるように努めます。
- ・下水道施設維持管理業務(事業費 278,024 千円)・・・管渠や処理場の維持管理や修繕等を行います。
- ・長寿命化計画策定事業(事業費 10,353 千円)・・・老朽化した管渠やマンホール等の施設を一体的に管理し、計画的でかつ効率的な改築を実施するための具体的な計画を策定します。
- ・新玉名駅周辺検討業務(事業費 4,000 千円)・・・九州新幹線全面開通に伴い、新玉名駅周辺の公共下水道事業整備の検討を行います。



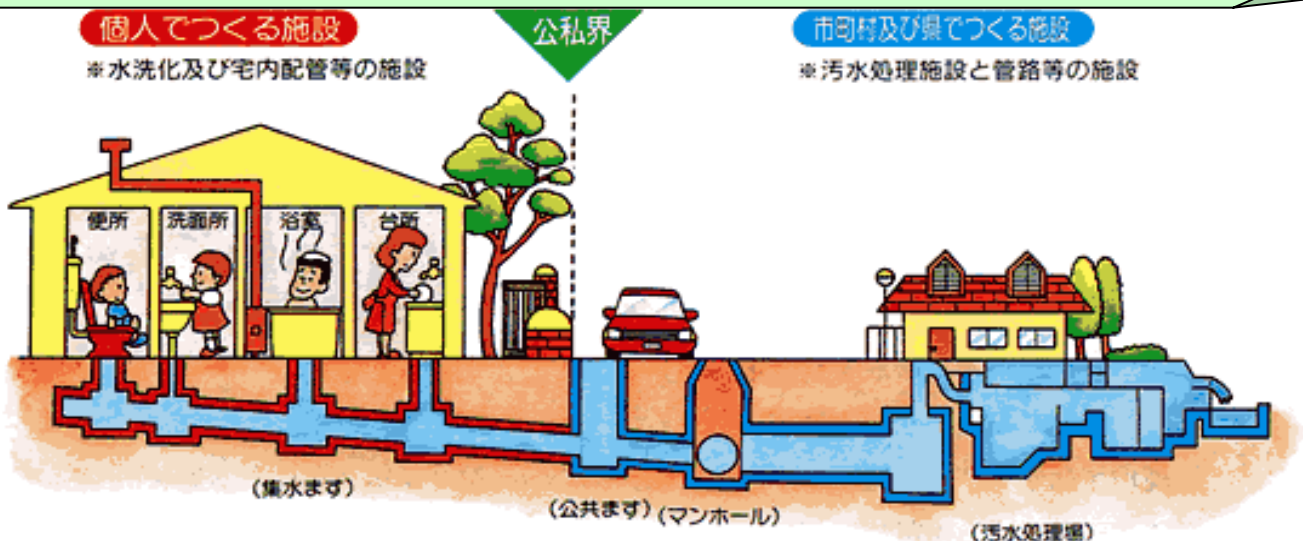
玉名市浄化センター内汚水処理施設

農業集落排水事業特別会計

事業費・・・348,411千円

担当課・・・下水道課

農業集落排水資源循環統合事業は、採択を受けた区域内の下水道を整備することにより、農村環境改善を目的として行うものです。平成 23 年度は、横島町 5 地区(横島、栗の尾、京泊、九番、大開)、天水町 3 地区(尾田、竹野、尾田川左岸)の処理施設維持管理及び農業集落への普及促進を行います。



浄化槽整備事業特別会計

事業費・・・36,178千円

担当課・・・下水道課

浄化槽整備事業は、旧天水町の農業集落排水事業区域外で、設置者の申請により玉名市が合併浄化槽の設置及び維持管理を行うものです。平成 23 年度は合併浄化槽 20 基の設置を計画しています。

II. 人と自然にやさしい環境のまちづくり

浄化槽設置整備事業

担当課・・・下水道課

事業費・・・84,624千円

浄化槽設置整備事業は、旧玉名市、旧岱明町の公共下水道事業区域以外、旧横島町の農業集落排水事業区域以外(ただし、7年以上下水道事業が実施できない区域は除く)で申請があった合併浄化槽設置について補助を行うものです。平成23年度は160基の補助を計画しています。

5. 安全安心なまちづくり

地域防災組織及び防災体制の強化

担当課・・・総務課

事業費・・・1,012,893千円



訓練に励む消防団員

複雑多様化する災害態様に対応するため、常備消防の充実・強化を図るとともに、地域防災組織の要である玉名市消防団の充実強化を進めます。

また、防災行政無線の充実及び自主防災組織の促進を図り災害に強いまちづくりを目指します。

【主な経費】

有明広域行政事務組合消防費負担金

848,879 千円

消防団等の経費 132,155 千円

消火栓等消防施設整備 7,994 千円

防災無線等の経費 23,222 千円

防災訓練に係る経費 323 千円

交通安全対策の強化

担当課・・・生活安全課

事業費・・・23,316千円

交通安全対策については、危険箇所へのガードレールやカーブミラーの整備を図り、歩行者への安全を確保するとともに、円滑な交通環境を整えます。また、玉名市交通指導員を中心とした安全活動を強化し、啓発活動などと併せて交通事故発生件数を減少させるよう、総合的な交通安全対策を行います。

また、AT ワンペダルの取付け費用の一部を補助し、全国的に多発するオートマチック車のアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故の防止に努めます。

【主な経費】

交通指導員 4,373 千円、交通安全施設工事・修繕 11,000 千円、交通災害共済事業 3,593 千円

AT ワンペダル整備費補助金 1,000 千円



アクセルとブレーキを兼用する AT ワンペダル



交通安全運動キャンペーンに臨む交通指導員

II. 人と自然にやさしい環境のまちづくり

防犯対策の強化

事業費・・・18,634千円

担当課・・・生活安全課



地域の安全を見守る防犯パトロール

「安心安全都市 玉名」を目指し、行政区等の団体が維持管理している防犯灯に対する助成をはじめ、防犯団体への支援を行い地域の防犯力を高めます。

【主な経費】

防犯等設置・電気料補助金 10,204千円
防犯協会負担金 5,164千円
防犯補導員、防犯指導員経費 1,203千円

JR 駅（大野下駅・肥後伊倉駅）管理事業

事業費・・・5,280千円

担当課・・・地域振興課

JR九州の経営改善に伴い、平成22年4月から大野下駅と肥後伊倉駅は、「簡易委託駅」として玉名市と地元で管理運営を行っています。

駅利用者の安心安全に努めるとともに、コミュニティ形成の場として地域に親しまれ特色のある駅の運営を行います。



JR肥後伊倉駅

災害時要援護者管理システム

事業費・・・110千円

担当課・・・総合福祉課
高齢介護課

大規模な災害時において、自力で安全な場所へ避難することや、情報入手したり発信したりすることが困難な人、医療措置や装具などが常に必要な高齢者、障害者等の方々を災害時要援護者として支援する事業です。

平成20年度に発足した事業で、災害時要援護者登録申請をされた登録者の方々の情報を、一人ひとりの支援プラン（個別計画）としてシステムに入力し、平成23年3月1日現在で、1,510の方が登録をされています。

平成23年度、随時対象となる方々への周知等を行い、災害発生時において更なる避難体制の充実を図ります。

II. 人と自然にやさしい環境のまちづくり

玉名平野地区排水路整備事業
事業費・・・123,711千円

担当課・・・農林水産政策課



洪水時期に農地の湛水被害や道路冠水が発生する玉名平野地区の排水対策事業を行います。本年度は河崎地区の排水路の整備を行います。事業費の負担割合は、国40%・市60%です。

岩崎導水路改良工事

河川事業
事業費・・・59,407千円

担当課・・・土木課

河川事業では、排水樋管の操作管理の委託及び市の準用河川等の浚渫や、河川・海岸砂防関係事業の促進期成会等とともに河川災害の防止を図るものであります。

また、悪用水路事業として、土水路に構造物を設置することにより、雑草や葦等の繁殖や汚泥の堆積を防ぎ、排水のスムーズな流れを確保する事業です。これにより、臭気や蚊、ハエ等の発生を軽減し、衛生的な周辺環境を築き、大雨や洪水時の冠水被害を最小限に留めます。

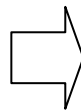
事業内容

- ・尾田川護岸除草
- ・排水樋管操作管理
- ・河川浚渫
- ・悪用水路改修
- ・負担金(境川、唐人川、菊池川、県河川、その他)

【悪用水路事業例】



着工前



竣工

II. 人と自然にやさしい環境のまちづくり

6. ごみ・し尿処理と再資源化の推進

循環型社会システムの構築

事業費・・・3,561千円

担当課・・・環境整備課

循環型社会システムの構築を目指して、3R(ごみの抑制、再利用、再資源化)の普及啓発と、ボランティア団体などの支援に努めます。

【主な経費】

ごみ減量化啓発チラシ等の作成	1,961千円
生ごみ処理機等購入費補助金	1,600千円



住民による資源ごみのコンテナ回収作業
(岱明総合支所)

ごみ処理システムの確立

事業費・・・920,772千円

担当課・・・環境整備課



パッカー車によるごみ収集作業

ごみの減量と分別ルールの徹底に努め、出されたごみと資源物は、有明広域行政事務組合立の東部環境センターとクリーンパークファイブ等へ収集運搬して処理し、リサイクルを推進します。

不法投棄については、パトロールの強化などを図り減少に努めます。

【主な経費】

有明広域行政事務組合清掃関係負担金	729,797千円
ごみ処理経費	147,538千円
不法投棄物監視回収委託料	4,828千円
ゴミ袋の作成と販売に関する経費	38,609千円

し尿処理施設の充実

事業費・・・570,456千円

担当課・・・環境整備課

玉名市し尿処理場及び有明広域行政事務組合立の第1衛生センターにおいて、し尿及び浄化槽汚泥を処理し、処理後の汚泥は堆肥化を図ります。

玉名市し尿処理場は、老朽化と処理能力が不足しているため、平成22年から23年度にかけて公共下水道との連携した前処理施設の施設整備を行います。

【主な経費】

有明広域行政事務組合衛生費負担金	78,396千円
有明広域行政事務組合衛生施設建設費負担金	4,528千円
し尿処理費	54,004千円
し尿前処理施設建設費	433,528千円



し尿処理場